

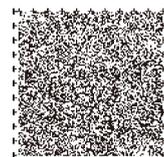
令和5年度

# ふくおか 共助社会づくり 表彰

多様な主体が  
知恵や力を持ち寄った  
取組を紹介



下の模様は音声コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



## はじめに

福岡県では、NPOや企業、行政などの多様な主体が互いに協力し支え合う「共助社会」の実現に向け、さまざまな取り組みを行っています。

「ふくおか共助社会づくり表彰」は、共助社会づくりを促進するため、多様な主体の先駆的な協働の取り組みや、他の模範となる地域貢献活動を表彰するもので、今回で16回目となります。

令和6年2月

福岡県知事  
服部 誠太郎



今年度は、有識者による選考の結果、2件の取り組みを表彰する運びとなりました。

「市民主体による持続性ある海洋環境保全・美化活動」、「『KAMIKURU(カミクル)』プロジェクト」のいずれの取り組みも、多様な主体が協働し、それぞれの専門性やネットワークを最大限に生かしながら活動されており、着実な成果に結びつけています。

この表彰をきっかけとして、受賞された皆さまの活躍の場がさらに広がるとともに、多様な主体による協働がますます活発になり、これからの本県の共助社会づくりに寄与することを大いに期待しています。

## 受賞取組・団体一覧 (2件5団体)

01

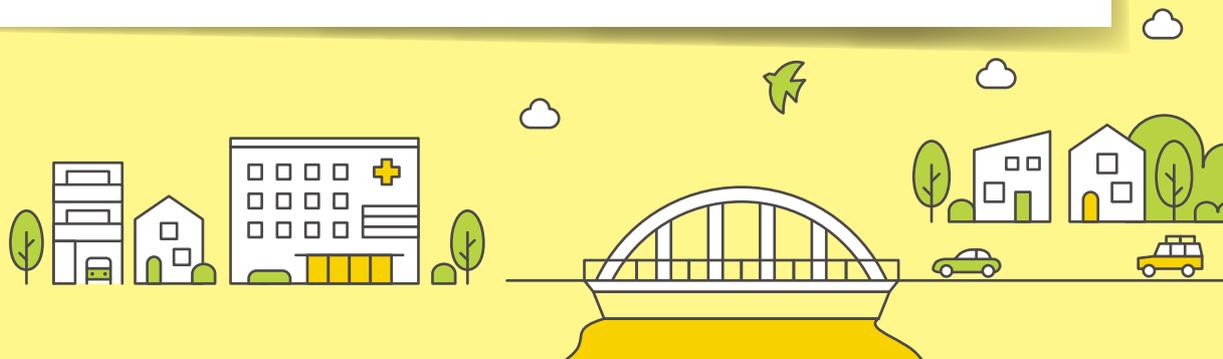
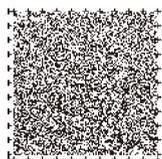
### 市民主体による持続性ある海洋環境保全・美化活動

われら海岸探偵団 / 特定非営利活動法人まちのカルシウム工房 / 若松海上保安部

02

### 『KAMIKURU (カミクル)』プロジェクト

NPO 法人わくわーく / エプソン販売株式会社



## 01 | 市民主体による持続性ある海洋環境保全・美化活動

### 団体名

【団体】	われら海岸探偵団 事業の企画・運営、啓発活動実施
【NPO】	特定非営利活動法人 まちのカルシウム工房 運営・事務局管理、啓発活動実施
【行政】	若松海上保安部 技術支援・安全管理、啓発活動実施

### お問い合わせ先

#### われら海岸探偵団

〒808-0077 福岡県北九州市若松区用勺町16-28

TEL:093-772-3223

URL: <http://www.kaitan.link/>



参加者は、いつも黙々と作業をします。その時の顔は、常に満面の笑顔です。

北九州市の中でも若松区は、美しい自然の海岸線を多く抱えているが、海岸に漂着するごみは増加傾向にあり、環境に影響を及ぼす要因になっているほか、船舶のスクリュー故障の原因となり、船舶事故を引き起こすこともある。

そこで、海岸ごみの削減に向け、行政とNPOが協働し、任意団体「われら海岸探偵団」を発足し、月に1度、地元住人や漁業組合、企業等から数十人のボランティアが、北九州市若松区周辺の海岸清掃活動を行っている。

平成13年から取り組みを開始し、令和5年12月までの約22年間で、236回の清掃活動を実施。ボランティア延べ11,386人が活動に参加し、204,476kgの海岸ごみを回収した。

また、他の団体が実施するイベントにおけるパネル展示や清掃活動に定期的に参加し、参加者に対して海岸ごみに関する啓発を実施している。

今後も、若松での清掃活動を継続しつつ、同様の活動に取り組んでいる団体に対して支援を行い、活動の輪を広げていく。



私たちの団体は、活動した時、毎回参加者全員で記念撮影をします。



海は、大人4、5人で運ばなければならない太いロープも容易に運びます。

### 読者への メッセージ

活動開始後22年が過ぎましたが、未だ海岸ごみは減りません。私達に出来ることは、ごみを捨てないこと、発生したごみを回収することです。次世代にごみを継承するのではなく、護美の心を継承していきます。

われら海岸探偵団 団長 竹内 裕二さん



## 02 | 「KAMIKURU (カミクル)」プロジェクト

### 団体名

【NPO】 NPO法人わくわーく  
事業企画、運営（使用済み用紙の回収、再生紙生成、アップサイクル製品化、参画者への還元配布）

【企業】 エプソン販売株式会社  
事業企画、機器及び作業場所の貸与

### お問い合わせ先

#### NPO 法人わくわーく

〒805-0062 北九州市八幡東区平野1丁目3番2号

TEL:093-671-1221

URL: <https://www.wakuwa-ku.com/>



回収した古紙の仕分け作業

「都市と自然が共生するまち」づくりを進める北九州市において、障がいのある方の就労支援に取り組むNPOと企業が協働し、紙資源のアップサイクルによる資源循環プロジェクトに取り組んでいる。

取り組みに賛同する地域の企業、学校、行政等から回収した古紙を乾式オフィス製紙機「PaperLab」で新たな紙としてリサイクルしたうえで、様々な紙製品にアップサイクルし、地域に還元することで、紙の循環システムを構築している。

また、古紙の回収から仕分け、再生紙作り、アップサイクル品の製作、配達までを障がい福祉サービス事業所が担当しており、障がいのある方の就労機会創出にもつながっている。

高校の卒業証書や百貨店の紙袋など、身近な製品にアップサイクルし、実際に手にとってもらうことで、市民への環境意識の啓発にもつながっている。

今後も、賛同企業・団体や古紙回収量の増加を図り、紙の地域循環システムの拡大を目指す。



学校から古紙を回収



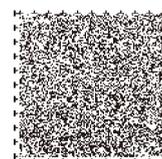
アップサイクル品

### 読者への メッセージ

KAMIKURUプロジェクトは、「紙の循環から始める地域共創プロジェクト」の愛称です。

アップサイクルされた紙が地域をクルクルと循環し、人と社会によりよい未来がやってくることを目指しています。

NPO 法人わくわーく 理事長 小橋 祐子さん



# ふくおか共助社会づくり表彰について

## ◆ 表彰の趣旨

この表彰は、多様な主体による優れた他の模範となる協働の取り組みを表彰し、NPO、企業等多様な主体の社会貢献活動を促進するとともに、本県の共助社会づくりに資することを目的に行っています。

## ◆ 対象となる取り組み

表彰の対象となる取り組みは、多様な主体が、地域の課題を解決するため、互いの特性を生かしながら、協力して行う協働の取り組みです。

## ◆ 表彰する取り組みの決定

応募があった取り組みの中から、外部有識者を中心に構成する「ふくおか共助社会づくり表彰選考委員会」の選考を経て決定します。

### 1 協働の効果

各団体が明確な役割分担のもと、それぞれの特性を生かすことで相乗効果が生み出されているか

### 2 社会貢献性

現状・課題の把握や解決に向けた手法が的確で、地域や社会に公益性の高い成果が生み出されているか

### 3 創意性

専門的な知識や地域の特性を生かすなど、創意工夫のある取り組みであるか

### 4 継続性・発展性

取り組みの継続や他への波及効果など、今後の広がりが期待できる取り組みであるか

### 5 特記事項

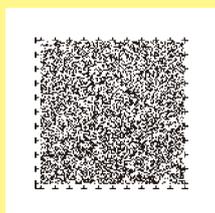
中長期にわたる活動実績など特筆すべき優れた点(加点要素)があるか

## ◆ 表彰の募集

募集は、例年4月頃から開始しており、次回表彰の募集については、詳細が決まり次第、コラボステーション福岡のHP等でご案内する予定です。

なお、表彰された取り組みは、県のHPや各種広報媒体を通じ、広く県民の皆様を紹介いたします。

自薦、他薦を問わず受け付けておりますので、皆様奮ってご応募ください。





福岡県

お問い合わせ / アクセス

コラボステーション福岡

住所 〒812-8577

福岡市博多区東公園7番7号 福岡県庁1F

連絡先 TEL 092-643-3938 FAX 092-643-3848

MAIL [kyodo@pref.fukuoka.lg.jp](mailto:kyodo@pref.fukuoka.lg.jp)

アクセス ① JR「吉塚」駅より徒歩約8分

② 西鉄バス「県庁前」バス停より徒歩約1分

③ 福岡市営地下鉄「馬出九大病院前」より徒歩約5分

ホームページ <https://www.csf.pref.fukuoka.lg.jp/>

コラボステーション

検索